



〜東方少女催淫〜





「東方少女催淫」



やあ、
時間通りだね

何の事
ですか？

いや、
こっちの話さ

にしても、また
窓からかい？



何を言っ
てるんですか！

もたもた
していたら
ネタに逃げられて
しまいます！



ドーもー

毎度おなじおみ
清く正しい
射命丸です♡

と、いう事で
逃げられない内に――

今日も
取材――

お世話になって
ますね♡

ちゅーん

おっ
おっ
おっ

これ
これ…♡

やっぱり、これ
すっ…♡

二オイ
だけでも
頭の芯、
痺れる
みたい…♡

は…♡

ト
ト
ト…♡

は…



これ以上大きくなられたら





熱くて
つるんとした
食感…
おいしくて…

私も、睡が
いっばい
出ちゃった…♡

んっく…

んっく…

先端を重点的に
攻めるのがいい
みたいですね…

時々
ピクンって
跳ねて…♡



はっ…♡
んっく…♡

んっく…♡

んっく…♡

んっく…♡



それでは、
あなたの特ダネ…

んっく…♡

本格的に
搾り取って
あげます…！



ふふ…それに
ちよっとだけ
カウパーの味…♪

もう、お漏らし
しちゃうくらい
気持ち良くなっ
てるんですね…♡



まるで、
私のお口が
性器になった
みたいにな...

すっごい...っ
さっき舌だけでも
おいしかった
こしの食感...

口全体...
ノド...
その奥まで...っ♡

おいし〜ん...
気持ち良〜ん...♡



自分から
おちんちん
根本まで
啜え込んで...

うれし〜ん♡
うれし〜ん♡

いっほい
ヨダし出て...
ぐちゃぐちゃっ
なっちゃっ
てる...っ♡



来たあ...っ♡



精液、直接
ノドの奥に...っ

いっぱい、注がれ
ちゃっ♡...っ♡



だめ...っ
もう...

こんな、
飲みきれない...っ！





あぁ...!!

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

まだこんなに
でるの...っ!?



は...
こんな...
濃くて、
臭いの...

ドロオ...

いっばい...
飲んじゃった
んだ...♡



こんな...

あゝ...

へちま...

トキ

プッ

ツッ

トキ

二方くて...
生臭くて...



ん...♡

チン...

チン...

喉に絡みつく
くらい
粘ついた

精子いっぱい
の
精液...っ!!

も、もう残してない
でしょうね…？

だめ…っ
やっぱり、コレ
スゴい…♡

これ、
飲んじやうと
ダメに、
なっちゃう…♡
もっと…
飲みたく…♡

搾り出して
あげます…っ！

尿道の中に
残った

最後の一滴
まで…♡

副傘丸に
たまって
出来たてから…♡

ほら、
こっちは…

出て
きたあ…♡♡♡

もっと、
最後の一滴
まで
残さず
飲み干したくて
たまらなくて…



最後の、

一番濃いの...



こんな...



んっ♡

んぐまむ



私...

噛み潰せ
ちゅーちゅー
プリプリ
した所

飲んで
しまったら、
もう

もぐもむ



「東方少女催淫」

切っ掛けは
いつも通りの
覗きで、偶然
見てしまった

明らかに正気を
失った人妖達

宇宙人、大妖怪、
はては巫女まで――

その、
大乱交

いかに……
おもしろ……



――いえ



こんなの絶対に
とんでもない
大異変……



特ダネに
決ってる…!!

キラリ…!



なのに、
まだまだこんなに
元気ですし…♡

このまま前回から進展
無しで帰るわけには
いきません…っ!



これは、
取材を続行するしか
ありませんね…っ

ネタが無いなら
作るまで、です…!



あれから、度々
この男の体を
取材しているが

いまだに
決定的な事実を
掴むに至らない

まったく…
どれだけ
射すんですか…♡

この、体の
変な感じ…

これ…
飲んでから
ますます…っ

それでも—

やはり、彼に何か秘密が
あるのは間違い無い



ま、待って
じゃあ…っ

え…っ

挿れられてるだけで
これなら…っ

あ…っ!?



精液、
射精したら…

ロじゃなくて、
子宮に、飲まされ
ちゃったら…っ

私、じつ
な…っ…っ!?



腰…
止まらない

こんなに
気持ちいいの、
止められない
わけない…っ♡

わかった…

私、
わかっちゃった…♡

今まで、ロや手で
済ませてきたけど

ホントは、
おちんちん…

臆、
欲しかったって…♡



—遂に、
決定的な事実を
掴んだ

あの男、
その体液に

女を昂ぶらせ、
おかしくしてしまっ—
催淫する程度の機能が
在るのは、明らかだ



とっしよもなへ

それどころでは
無くなってしまうのは

きゅん
きゅん

あの時の事を
思い出そうと
するよ



なのに、
記事に
起しようとして
すの

…っ

あ…っ

ん…っ



キスまで、
しちゃう
なんて…っ

…っ

トクッ♡
カチカチ♡

こういうのは、
恋人同士という
設定ですから

こういう事を
してしまっても
いいですよね…♡

もっと、色々
工夫を凝らして



カチカチ♡
カチカチ♡

取材が
まだ十分では
無いのだから

カチカチ♡

カチカチ♡

だから、
もっと、
しなければ
ならない

カチカチ♡



カチカチ♡

何度も、
取材を—

本当に
こんな所で、
なんて……



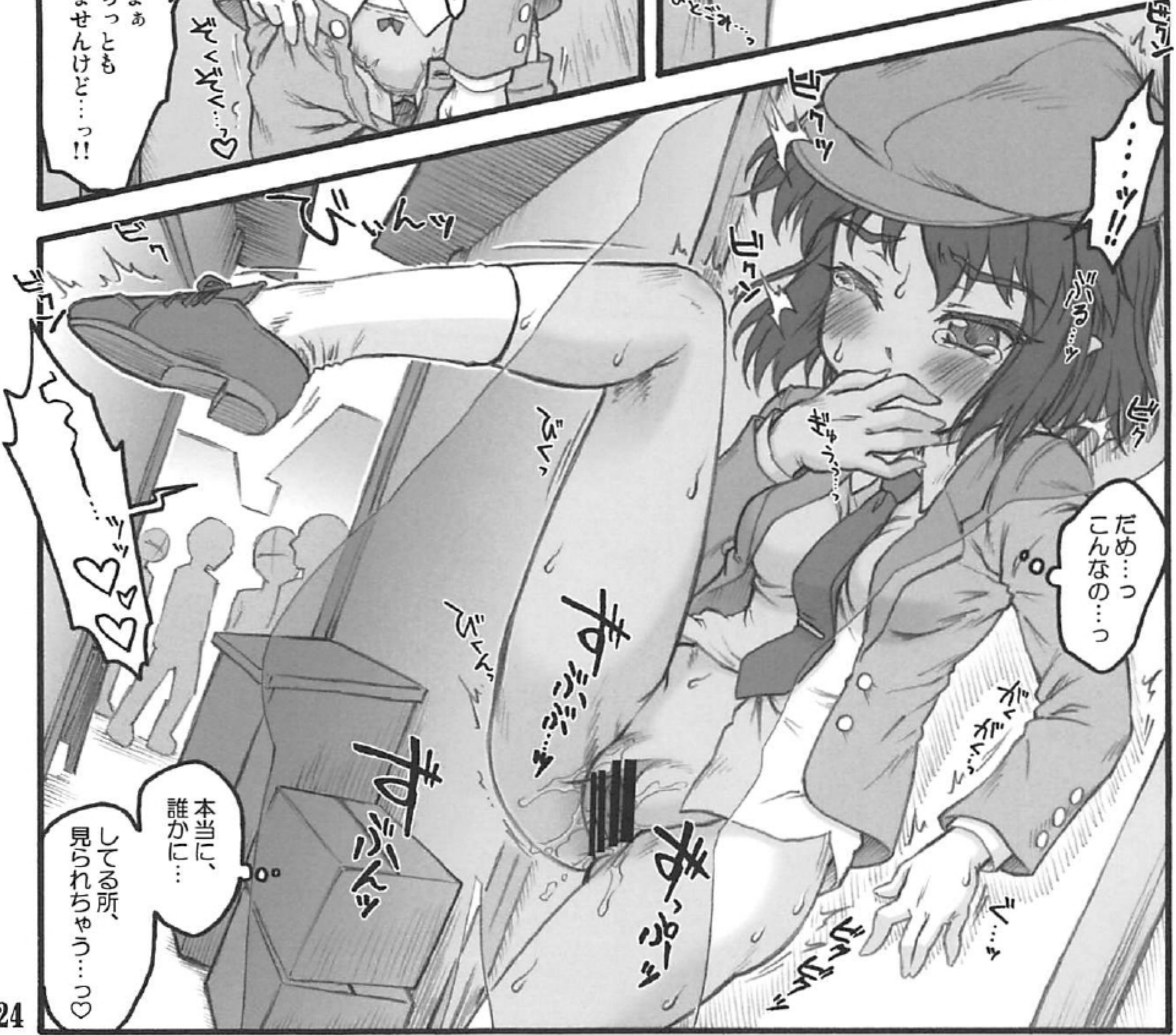
もし、
誰かに気付か
れたら……っ



羞恥心や、
そういうスリルで
興奮する方も
いらっしやる
そうですねし……

あなたも、
そのたぐい
ですか？

ま、まあ
私はちっとも
解りませんけど……っ!!



だめ……っ
こんなの……っ

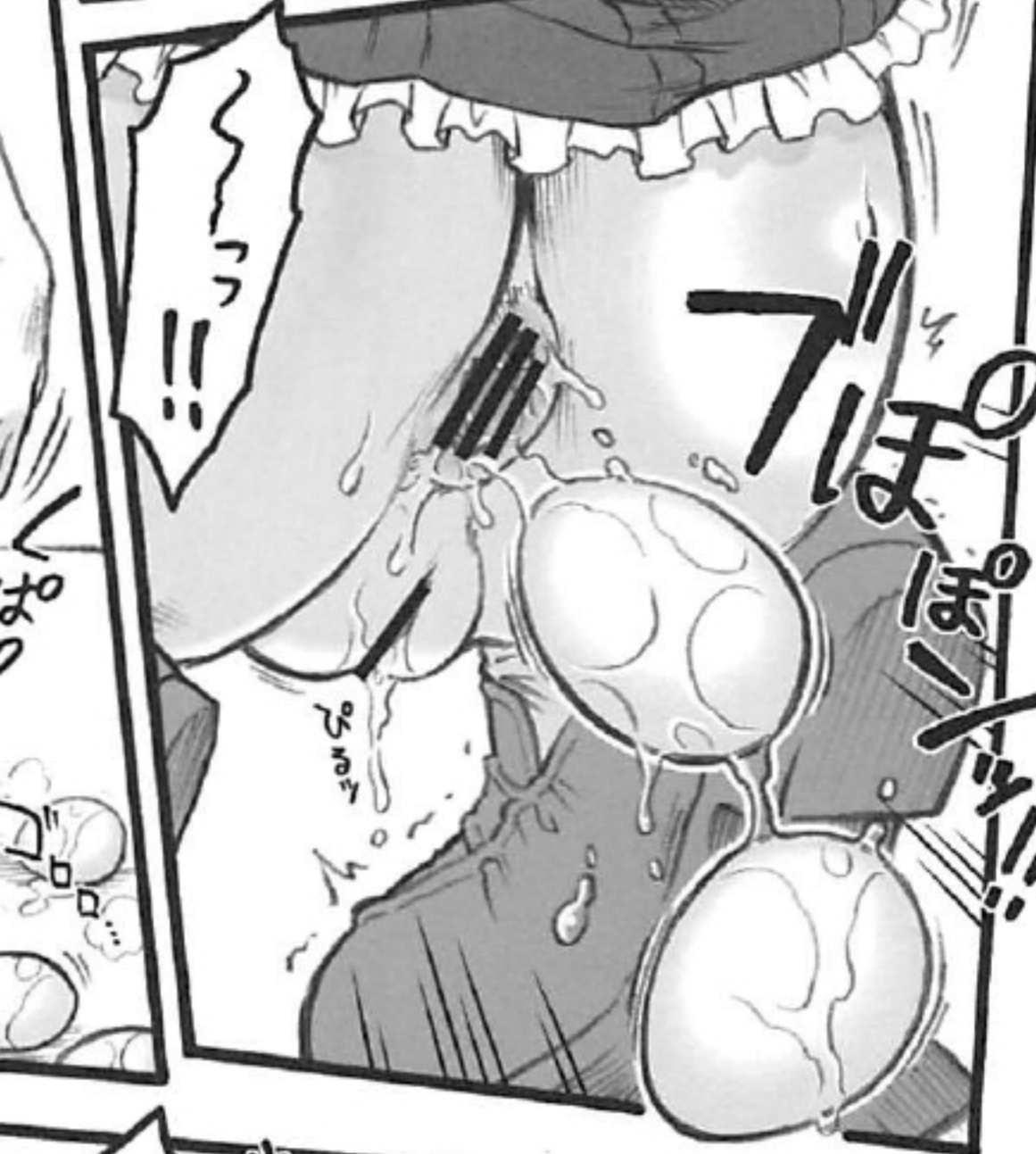
本当に、
誰かに……

してる所、
見られちゃう……っ♡



新しい刺激も
たまには必要かと
思っています

こちらの
準備もして
きたのですが…♡



抜ける時が
まるで出してる時
みたいな…っ

力が、抜け
ちゃう…っ!

何、
これえ…っ!?

それに…っ
お肉こしに子宮を
いつもと撞う
裏側から…っ

ちやんと取材をする為なら、どんな事でも——

今日は三人で取材させていただきますね……!

あの日に目撃した状況に近づける為に

人数を増やすべく、はたとと柵を巻き込んだりもした

よ、よろしくおねがいます!

……
……
……

こ、これが男の人の……

……!?
こんなに、なるものなの……!?



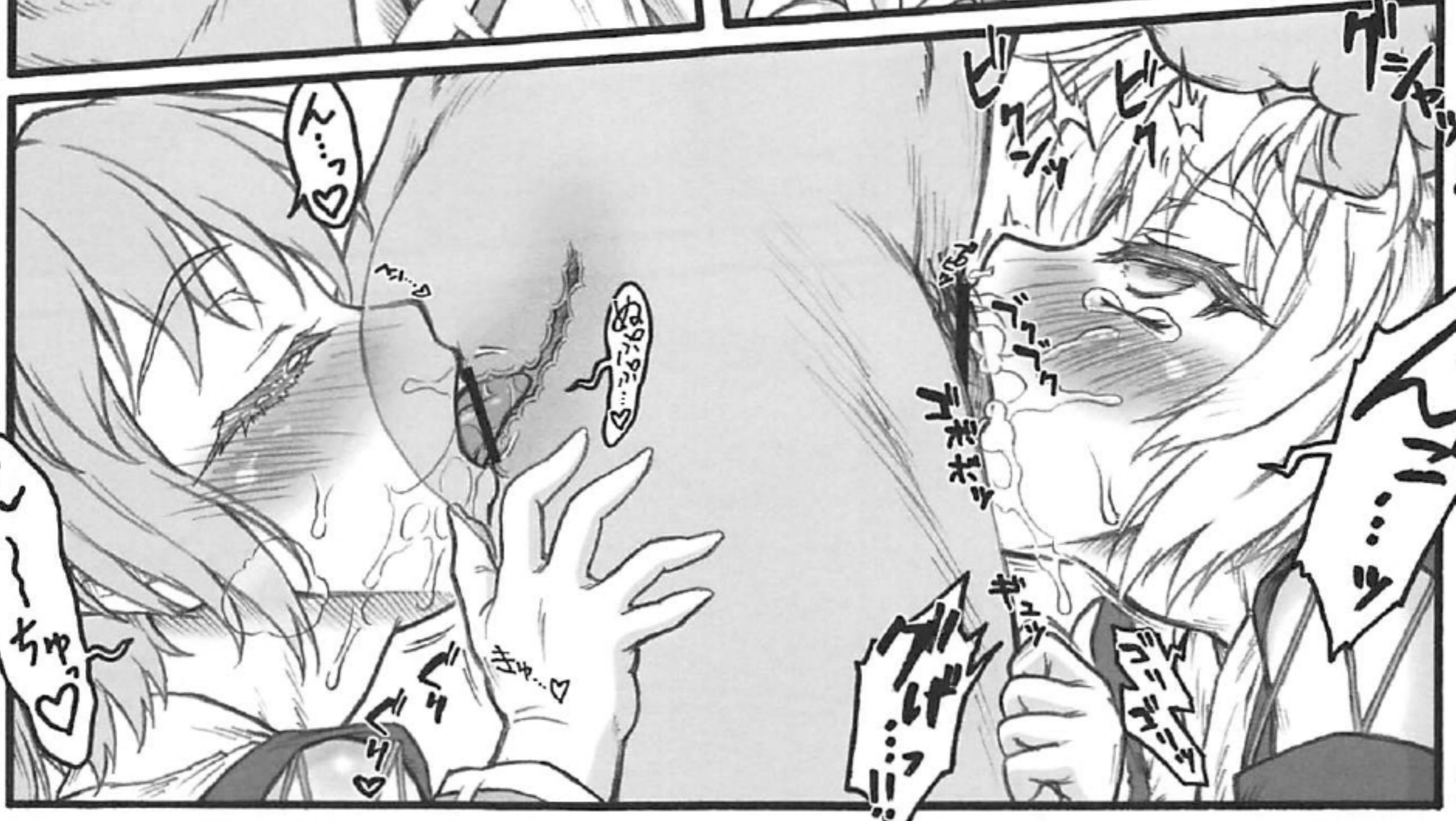
しっかりと
取材できる
よっ♡...

色んな所...
こっちでも
気持ち良くなって
もらわないと...♡



とても
そんな話なんて
受けてくれる
はずが無い、
そう思って
いただけれど

二人とも、
あっさり了承
してくれた





だって、
これも——

天狗として
当然のつとめ、
ですから——♡



だから、
これからも
取材のお相手——

よろしく
お願いします♡

To Be Continued ... ?

『文～東方少女催淫～』

発行：塵芥

発行者：破箒 芥

2017年8月11日初版発行

印刷：アクセス出版株式会社

連絡先：<http://akuta.info/>(web site)

yabureb@gmail.com(e-mail)

@akutu(twitter)



